

自治会活動 参加しポート

No.10

東大和市新堀自治会

青色防犯灯装着車による

防犯パトロール

(平成27年4月17日実施)



東大和市新堀自治会が行っている青色防犯灯装着車による防犯パトロール（以下「青パト」）に同行させていただきました。新堀自治会は、6年前の平成21年から警視庁の委嘱を受けて青パト活動を開始し、平成25年度には年38回（月平均3.2回）、26年度には55回（月平均4.6回）、主に午後10時から午前0時ごろまで巡回しています。

当日は、午後9時から1時間にわたる防犯パトロール。通常よりも早い時間とのことですが、それでも新堀地区の住宅街は人通りもなく、静寂に包まれています。特に、西武線の終電近くになる時間帯は、東大和市駅から新堀地区へつながる道も人通りがほとんどなくなり、「過去にも女性が東大和市駅から、後をつけられ、痴漢の被害にあった。そのようなことがないよう、駅周辺も巡回している。犯罪の抑止になれば幸い。」と井上会長。



巡回していると、2人の若者がパトロール車を見て近寄ってきました。「さっき、怪しい人に声をかけられました」。それを聞いた井上会長は注意を促すとともに、早速、交番へ情報提供しておく旨を伝えると、2人は安心したようで、「大変ですね。ごくろうさまです。」と笑顔で見送ってくれました。

その後、赤色灯をつけて止まっているパトカーを発見。不審者情報を通報しようとして近づいたところ、警察官は住民同士のトラブル対応中。

井上会長としては不審者も気になると同時に、

住民に関わるトラブルも自治会長としては放っておけない様子。何やら緊張感漂う現場。トラブルに巻き込まれた子どもが、井上会長を見るなり、助けを求めて走り寄って来たため、井上会長も子どもの話に親身になって耳を傾け、子どもを落ち着かせようと対処していました。



ここ数年活動をしてきて、パトロール地区の放置自転車が少なくなったり、夜遊びをしている子どもが減ったりしたことを実感しているそうです。「安全で安心して暮らせる地域にするため、これからもパトロールを続けていきたい」と井上会長。地道な活動が地域の安全を守ってくれています。

路上駐車をしている車の報告もしたいとのことで、途中、上仲原公園周辺や向原地区、南街地区を巡回しながら南街交番へ。常日頃から、新堀地区のみならず周辺地域にも目を配っているそうです。

青パトの存在は大きいようで、パトロール車を見かけると慌てて自転車のライトを点灯させる人がいたり、犬の散歩をしている方が会釈をしてくれたりする姿も見かけられました。



▲自治会長として 15 年目を迎える井上一彦会長

自治会加入を希望される場合には、ご近所の自治会役員、会員の方にお尋ねいただくか、市役所市民生活課市民協働係までお問合せください。

電話 042-563-2111 (内線1711)

ファックス 042-563-5931

※平成29年4月より課名が「地域振興課」へ変更となりました。